

町の人口（1月末）

- ・総人口 15,951人
- 男 7,672人
- 女 8,279人
- ・世帯数 4,002世帯
- ・転入29人・転出37人
- ・出生14人・死亡18人

町の花・ツツジ



力走、中尾坂！！

1月22日開催された第33回町一周駅伝大会。

今年も素晴らしいレースが展開された。

7区間29.8キロのコースの中で最もきつといわれる中尾坂（3区）。4区中継所手前約500メートルは正に心臓破りの坂。沿道からの盛んな声援。最後の力を振り絞る選手たち。力走、中尾坂！！

（関連記事 8～9ページ）

町独自で 多発注意報 発令

いつ、どこで、だれが起こすかわからない交通事故。一瞬にして幸福な家庭を破壊してしまう交通事故。

「車に注意して」と家庭や地域、職場などで互いに声をかけ合い、安全を願う毎日。

しかし一向に減少しない。特に昨年暮れから一月にかけて急増、人傷事故九件、物損事故二十五件と、この異常事態に町では一月十二日から十日間町独自で「多発注意報」を発令、交通安全を訴えました。

傷者

21人増

誰もが事故はおこさない、事故には遭わないと思っ

しかし、悲惨ともいいうべき交通事故は後を絶たないのが現状です。

昨年中に本町で発生した交通事故の状況は、発生件数四一件（前年比九件増）、死者〇（同比一名減）、傷者五六名（同比二一名増）、物損一六四（同比二件減）と、死亡事故こそないものの人傷事故が非常に増加したことはその重大さをあらためて感じさせられます。

これらの事故の特徴点をあげてみますと、原因別では安全運転義務違反（前方不注意、安全不確認、ハンドル・ブレーキ操作不適當等）が最も多く、次いで追越し違反や一時停止義務違反等があげられます。

郡内交通事故発生状況

町別	年	発生件数	死者	傷者	物損事故
川棚町	63	31	0	41	173
	62	41	0	54	198
	増減	-10	±0	-13	-25
波佐見町	63	41	0	56	164
	62	32	1	35	166
	増減	+9	-1	+21	-2
東彼杵町	63	49	4	73	161
	62	33	1	45	154
	増減	+16	+3	+28	+7
計	63	121	4	170	498
	62	106	2	134	518
	増減	+15	+2	+36	-20

飲酒運転で

27人検挙

当事者別で見ると、子供や若者の事故が目立っており、交通弱者といわれる歩行者や自転車での事故も増加傾向にあります。

さらに、飲酒運転も追放宣言をしているにもかかわらず依然として後を絶たず、昨年中、本町では二七名もの人が検挙されています。また、昨年暮れから一月にかけては人傷事故九件、物損

事故二五件という異常ともいえるほど重大な交通事故が発生しました。

このような状況から去る一月十二日に本町独自の「交通安全多発注意報」を発令し、町民に注意を促すとともに各種団体の協力を得て、この日から二十一日までの十日間「交通安全町民運動」を展開しました。

町独自の注意報は県下でも初めてでしたが、期間中の交通事故は物損事故五件にとどまり運動の成果がみられました。

しかし、今後も交通事故が



自立つ子供や 若者の



(写真提供・川棚警察署)

思いやりの心を大切に
安全運動の輪を広げよう



「安全な わが街づくり」 のために

川棚警察署
高谷康次交通課長

先般、波佐見町では、重大事故を含めて交通事故が多発したため、「交通事故多発注意報」が発令され、町をあげて広報活動や街頭指導が行われましたが、その結果、交通事故が著しく減少しました。これは、やはり町民ひとりひとりが交通事故防止に心がけたからだと思えます。みんなが交通ルールを守り、注意さえすれば交通事故は防止できるのです。ドライバーは「警察の取締りがあるから」とか「免許の停止を受けるから」という次元の低い考えでなく、人命尊重の見地から交通ルールを守り「思いやりの心」「譲り合いの精神」で運転し、歩行者も、ドライバーに迷惑をかけないようにいつでも交通ルールを正しく守ってもらいたいと思えます。今、波佐見町では、「安全なわが街づくり」運動を推進していますが、誰でも自分が住んでいる街を愛しており、この街のために何かしたいという気持ちがあると思えます。町民全員がこの運動に参加して愛する郷土の交通安全のために何かひとつでも実践してもらいたいと思えます。勿論、私達も、交通事故のない安全で住みよい街づくりを目指して今後も一層の努力をして参りたいと思えます。

まったくなくなるとはいえませんが、いつ、どこで、だれが交通事故にあつたり、起こしたりするとも限りません。町民一人ひとりが「交通安全」というこの四文字の意味を再認識し、この運動を盛り上げていかなければなりません。これまで「交通安全運動」といえば、主に安全協会や交通指導員、交通安全母の会等の協力団体によってなされてきましたが、本町では今後さらに一般地域住民の手による運動を盛り上げようと「広げよう安全の輪わが街から」をスローガンに「安全なわが街づくり運動」を推進することにしていきます。

県下で飲酒

八名死亡!!

飲酒運転は恥

県内では飲酒運転による交通事故が相次ぎ、本年一月中の交通死亡事故は六件九名のうち、五件八名までが飲酒運転によるものという異常事態となっています。このような状況から、県下では二月中を「飲酒運転追放対策推進月間」と定め、総力を上げて飲酒運転の防止

対策に取り組んでいます。悪質かつ危険性が極めて高く悲惨な交通死亡事故に直結する飲酒運転を防止するため個人個人が自覚し「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」ことを固く守り本町から一件の飲酒運転を出さないよう皆さんのご協力をお願いします。

町観光協会スタート!!

会長に松尾常盤氏



一月二十日に開催された波佐見町観光協会設立総会

魅力ある観光の町・波佐見を目指そう——

波佐見町観光協会設立総会が一月二十日、農村環境改善センターで開かれ、出席した約百人の会員は、協会規約をはじめ、事業計画や役員などを決定、いよいよ町観光協会がスタートを切りました。

同紙十二月号でもお知らせしたように、同協会は、本町の観光施設の整備充実や観光資源の有機的使用を行い、魅力ある観光地づくりのための、その推進母体となるべく結成されたものです。

主な事業としては①観光情報の収集②町の特性を活かし魅力ある町づくりと宣伝活動③町の観光資源と特産品（窯業・農業）のほりおこし④観光施設の整備促進と観光客の誘致——以上の四つを柱として展開していくこととしており、事業にかかる経費は、公募会員の会費（一口三千元）と町の補助金で賄うことにしています。一月二十日現在三

百六十五人、七百五十七口が同会に加入。事務局は役場商工企画課に設置されることになりました。

役員選任では、会長に松尾常盤・県議会議員、副会長に

中尾千歳・町商工会長、田崎謹語・県陶磁器元卸商業協同組合理事長、今里一夫・今里酒造社長が承認され、任期は二年初年度の事業としては、広域的な情報収集、テレホンカード、観光マップ、町内各施設等の案内ビデオの作成、看板設置などを計画しており、具体的には理事会（四十人）で検討していくことになりました。



掘りおこせ
わが町の観光



住民記録

「オンラインシステム」

—2月から始動—

本町では、佐世保市に委託している電子計算業務の高度利用を図るため、佐世保市と各町（十一町）とを電話回線等で結ぶ、分散型オンラインを導入。今年度は、まず第一次開発業務として、住民記録オンラインが二月一日から

始動することになりました。この方式は、各町に小型または中型のコンピュータを導入し、佐世保市の大型コンピュータと結び、住民票の交付や住民記録に関する全ての作業が、コンピュータで処理されるものです。今後第二次の開発業務として、税のオンライン、収納消込、納付書等の漢字化、印鑑登録証明などを計画しています。

高度利用の効果として、情報の一元化、事務処理の効率化など期待されますが、当分の間、特に三月、四月は住民異動のピークとなりますので、皆様のご協力をお願いします。



▶二月一日から始動した住民記録・オンラインシステム



町の事業

12月から1月にかけて行われた町の事業（工事発注）をお知らせします。

〈建設関係〉

- ▶町道内ノ波線災害復旧工事 125万円 山口建設
- ▶町道浄徳線舗装工事 150万円 西部道路
- ▶町道西中ノ原線舗装工事 140万円 西部道路
- ▶町道深川内線舗装補修工事 185万円 西部道路
- ▶普通河川三股川災害復旧工事 115万円 川内建設
- ▶町道岩下線舗装工事 210万円 西部道路
- ▶町道風ノ木線舗装工事 550万円 西部道路
- ▶舞相地区防火水槽新設工事 310万円 田崎工務店

〈農林関係〉

- ▶永尾地区頭首工災害復旧工事 300万円 成富建設
- ▶木場山地区溜池災害復旧工事 520万円 小佐々建設
- ▶大石本地区溜池災害復旧工事 790万円 上山建設



南小学校で 招待給食

学校給食週間中の一月二十六日、町立南小学校（平川福重校長・児童五百二人）では、町議会文教厚生委員と南小学校育友会役員を招待し、学級に分かれて、児童と一緒に郷土料理「干したらの煮しめ」などを会食しました。

また、一月三十日と二月一日には、南小と中央小の児童代表が給食センターを訪れ、感謝の気持ちをこめて花束を



和やかな招待給食

生涯学習

シンボルマーク決定

最優秀賞に松尾賢二さん

(折敷瀬郷)

本町は、六十二年度から、生涯学習推進指定町として県の指定を受け、生涯学習の推進に努めています。

広く町民の方々に生涯学習の言葉と意味を知ってもらうために、生涯学習のシンボルマークを公募し、この度決定しました。

応募された七点の中から、折敷瀬郷の松尾賢二さんの作品を最優秀賞に決定しました。このマークは、波佐見町の頭文字「H」と学習の「学」

の字を図案化したもので、一人と人が手を取り合って学習し、心豊かな(ハート型)人生を」という意味で、中心の若葉は、飛躍・発展を表わしています。

今後は、生涯学習関係の資料や案内状に印刷するほか、町の推進会議委員さんや地区推進員(自治公民館長)さんなどへ、陶磁器製の推進員バッジとして活用したいと考えています。

がん・心臓病
脳卒中を予防しよう

成人病による死亡者は、昭和60年以來、がん、心臓病、脳卒中の順となっています。これらの成人病は、日常の生活習慣と深い関係があります。不規則な生活やたばこ、アルコール、塩分の取り過ぎなどが、成人病を発生させる共通点というわけです。



生活習慣を見直し
定期検診を受けよう

成人病を予防するには、まず生活習慣を見直すことが大切です。具体的には栄養、運動、休養などの見直しです。もしわからないことがあれば何に気をつければよいかを、保健所・医療機関などに相談しましょう。これを成人病の「一次予防」といい、火災予防にたとえれば「火の用心」にあたります。

それでも成人病にかかってしまうことがあります。そのときに症状が進行していて、手遅れになってしまつては大変です。定期的に検診を受け、健康の確認をすつとともに疑わしい症状が続くときは、専門医の診察を受けることが大切です。これを「二次予防」といい、火事でいえば「初期消火」にあたります。

健康は高齢化社会の
大切な財産

成人病は、「一次予防」と「二次予防」の両輪によって防ぐ必要があります。どちらが欠けてもいけません。

高齢化社会に移行している現在、健康であるということは大きな財産といえます。そのためには、日ごろのチェックと年一回の定期検診を忘れずに心がけるようにしましょう。

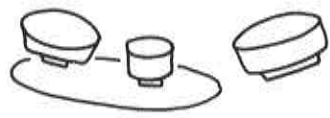


その火 その時 すぐ始末!

春の全国火災予防運動

2月28日から3月13日





取引高八億円

波佐見焼新春展示販売会

恒例の波佐見焼新春展示販売会が一月七日、勤労福祉会館で開かれ、昨年をわずかに下回る八億円の取引高となりました。

波佐見陶磁器工業協同組合に加盟の窯元が、長崎、佐賀など肥前地区の商社を招いて毎年実施しているもので、今年度は、窯元三十八社と各地の商社・卸問屋約百二十社、四

百五十人と、びざ詰め取引。会場では、各窯元の自慢の新製品約一万点がずらりと並べられ、各コーナーでは、終始熱の入った商談が繰り広げられていました。

年々バラエティに富んだ作品が登場する同販売会。今年度も、茶器、コーヒーセット、大小の皿、鉢ものなど、様々な技法をこらした力作ぞろい

昨年引

き続いでの好調な滑り出しに関係者らは明るい表情を見せていました。

優等一席に 福島 正利さん (野々川郷)

——第10回町肉牛共進会——

第十回町肉牛共進会が二月六日、早岐家畜市場で開かれました。肥育技術の向上と良質肉用牛の生産意欲を高めよう」と毎年開催されているもので、会場には、手塩にかけて育て上げた精鋭牛五十頭が勢ぞろい、体質均衡、発育状態など一頭一頭厳しい審査が繰り広げられました。

その結果、野々川郷の福島正利さんの出品牛が見事初の優等一席と同二席の上位を独占。このほか優等三席から五席の三頭と一等賞十頭、二等賞十五頭が選ばれました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

	昨年度	本年度
出品頭数	頭 58	頭 57
販売頭数	54	43
総販売額	千円 47,213	千円 37,501
平均体重	kg 670	kg 688
平均価格	円 874,314	円 872,116
最高価格	円 1,151,000	円 1,071,000
平均単価	1 kg当り 円 1,304	1 kg当り 円 1,274
最高単価	円 1,560	円 1,459

- ▼優等賞 一席＝福島正利(野々川)、二席＝福島正利(同)、三席＝野口正憲(井石)、四席＝高尾晃(田ノ頭) 五席＝吉田勉(志折)
- ▼一等賞 一席＝長島辰己(野々川)、同賞＝松尾好夫(甲長野)、宮川正道(井石)、野口正憲(井石)、福田和正(湯無田)、長島清美(野々川)、高尾晃(田ノ頭)、立井甫(稗木場)、三岳久美(稗木場)、立井甫(稗木場)
- ▼二等賞 一席＝松添三郎(甲長野)、同賞＝久松金一(甲長野)、松下吉次(甲長野)、野口正憲(井石)、吉田勉(志折)、山口満則(志折)、石橋正雄(川内)、楠本秀征(永尾)、長島則行(野々川)、谷山安一(岳辺)



優等一席に輝いた福島正利さん

- 田、溝口繁蔵(村木)、今里初次(村木)、橋口久雄(金屋)、三岳久美(稗木場)、川原栄(稗木場)
- ▼団体優勝＝野々川班



3連は飾る!

一斉にスタート

新春の波佐見路をひた走る、第十三回波佐見一周駅伝大会が、一月二十二日町内七区間二十九・八キロのコースで開かれました。今回出場したのは、町内各地区から三十二チーム・二百二十四人。時折小雨が降る中、選手たちは公道からの声援を受けながら懸命に力走。その結果、乙長野Aチームが見事三年連続優勝を飾りました。



第33回波佐見一周駅伝大会

V3を飾った乙長野Aチーム

総合順位表

今回順位	チーム名	タイム	前年順位
第1位	乙長野A	01. 41' 11"	昨年1位
第2位	川内木A	01. 41' 23"	昨年2位
第3位	村木A	01. 43' 21"	昨年3位
第4位	湯無田A	01. 43' 35"	昨年13位
第5位	宿B	01. 43' 56"	昨年5位
第6位	永尾A	01. 44' 17"	昨年4位
第7位	井石郷A	01. 44' 29"	昨年10位
第8位	金屋郷A	01. 45' 49"	昨年11位
第9位	折敷瀬A	01. 46' 26"	昨年6位
第10位	折敷瀬B	01. 46' 36"	昨年9位
第11位	榎木場A	01. 46' 41"	昨年19位
第12位	山田A	01. 46' 43"	昨年7位
第13位	三股郷A	01. 47' 17"	昨年12位
第14位	野々川A	01. 47' 46"	昨年15位
第15位	村木B	01. 50' 33"	昨年18位
第16位	尾A	01. 50' 36"	昨年8位
第17位	中小協	01. 50' 39"	昨年31位
第18位	和尾B	01. 52' 39"	昨年14位
第19位	辺尾B	01. 53' 18"	昨年21位
第20位	永尾B	01. 53' 33"	昨年17位
第21位	井石郷B	01. 54' 13"	昨年30位
第22位	折敷瀬B	01. 54' 23"	昨年27位
第23位	甲志野A	01. 55' 28"	昨年24位
第24位	永尾B	01. 55' 43"	昨年22位
第25位	榎木場B	01. 56' 02"	—
第26位	中尾B	01. 56' 51"	昨年23位
第27位	乙長野B	01. 57' 22"	昨年20位
第28位	湯無田B	01. 58' 20"	昨年25位
第29位	平野A	02. 00' 17"	昨年28位
第30位	田ノ頭	02. 00' 26"	昨年16位
第31位	宿B	02. 00' 30"	昨年26位
第32位	村木C	02. 02' 03"	昨年29位

レース展開

▼一区(中学校—御堂)

一斉にスタートした三十二チーム。毎年中学、高校生の力走ぶりが特に目につくのが一区。今回も二十三チームが起用した。舞相—西ノ原—内海と沿道から盛んな声援を受けながら御堂へとひた走る。

その中で、昨年同区で二位の森山浩二選手(三股)が快走。永尾Aの追走を振り切り、見事トップでタスキを渡した。若手選手の多い中、四十五歳の溝口勇選手(金屋)の区間二十二位の力走も光る。

▼二区(御堂—三股)

最短の二・四だが、早くも順位が激しく入れ替わる。その中で七位でタスキを受け

た広瀬哲也選手(村A)がいだ天ぶりを発揮、一挙にトップにおどり出て、古豪村木の意地を見せつけた。以下三股、永A、湯Aの順に中継。

▼三区(三股—中尾・大弥前) 全区間の中で一番の難所といわれる中尾坂が待ち受ける。中継点手前の約五百メートルは、各選手にとって正に心臓破りの坂。懸命に力走する各選手の中でひととき目を引いたのが上野光則選手(川内)。昨年同区で区間賞を手に入れているが今年も八位から一挙にトップにおどり出る快走ぶりを披露。昨年のタイムを十六秒縮め、吉武利勝選手(折)の持つ区間記録を十一秒上回る十四分十三秒で見事区間新をマークした。また、辻勝也選手(宿

強いに長野A

A)の十四位から六位への浮上も光る。川内、湯A、村A、永A、乙Aの順に中継。

▼四区(中尾―舞相)
コースは、一変し鬼木から井石へと一挙に下る。トップの川内に食い下がる各チーム、じわじわ浮上してきたのが乙Aの田崎政彦選手。三区の兄・展行選手(区間三位)からタスキを受け、一挙に突っ走り前方を走る川内、湯Aとの差を縮めた。ここでは、今大会最高齢の竹嶋善末選手(五)の区間九位、折Aの石峰満義選手(四)の区間三

位で受けた乙Aの本山伝衛選手の健脚ぶりは見事。先を走る井A、宿Aを次々と追いつき区間最高をマーク、V3への執念を見せつけた。この区間で前半トップの川内との差がわずかに十四秒と縮まった。

股・小林政人選手(四)の区間四位とベテラン勢の気迫はすごい。結局前半は、川内が二位湯Aに四十六秒、三位旗乙Aに一分二十一秒の大差をつけゴール、初Vへの夢に大きく近づいたかに見えた。

▼五区(舞相―平野)
町公民館前を再スタート。寺ノ下から宿へと一団となり走り抜ける。飛び出したのが井Aの田中正継選手と宿Aの森浦好雄選手の二人。田ノ頭片淵、平瀬と激しいデットヒートを展開。梅高野で田中選手が十位ほどリードし引き続き離しにかかるが、森浦選手は満を持していたかのように中継点手前三百位ほどから一気に逆転、田中選手に六秒差でタスキを渡した。両選手とも見事区間新をマーク。宿A―井A、乙A―川内の順に中継。



30日出場の小林政人選手セッケン2番、ベテランの底力を発揮しま

▼六区(平野―皿山)
前半の難所が中尾坂があれ、後半は長野―皿山越え。三位で受けた乙Aの本山伝衛選手の健脚ぶりは見事。先を走る井A、宿Aを次々と追いつき区間最高をマーク、V3への執念を見せつけた。この区間で前半トップの川内との差がわずかに十四秒と縮まった。

▼七区(皿山―中学校)
いよいよV争いは最終区へと持ち込まれた。初V成るか川内。三連覇成るか乙A。沿道の声援も最後の各ランナーの力走に一段と熱が入る。二位以下が激しく入れ替る中、トップを走る乙Aの岩永真喜選手は逆転Vを目指すべく力走。川内との差は徐々に縮まっていた。一方後方では、溝口真二選手(金屋)がこの区間ただ一人十二分台(区間タイ)の快走を見せ見事区間賞を獲得した。

結局最終ゴールには、乙A、井石A、川内、宿A、村A、永A、金屋の順にテープを切り、その結果、総合で乙Aが前半の川内との大差をはねのけ一時間四十一秒で見事三連覇を飾った。十二秒差の川内が準優勝、三位は村木Aとなった。また、昨年の三十一位から今回十七位に浮上した小樽が躍進賞を獲得した。



▲6区中継点では、今年も平野婦人会の暖かいおもてなし、身も心もホットになります



▲きつかったな―中尾坂

記念表彰 (敬称略)

- ▶30日出場
小林 政 人 (三股郷)
- ▶20日出場
野村 茂 樹 (野々川郷)
井村 好 幸 (井石〃)
間 繁 春 (村木〃)
- ▶15日出場
波江 耕 造 (鬼木〃)
田崎 博 (宿〃)
山口 浩 (岳辺田〃)
柿川 徹 (〃)
岩永 真 喜 (乙長野)
内田 秀 穂 (湯無田)
- ▶10日出場
一瀬高博(永)、執行保(永)
永井和幸(小)、田中和利(鬼)
谷村学(村)、坂本健吾(稗)
岡田史郎(田)、赤松英樹(田)
南 勇(田)、久永義則(中)

<区間賞>

(敬称略)

区	間	距離	選手名	チーム	タイム	大会記録
1区	(中学校―御堂)	3.6	森山 浩二	三股	11'44"	11'35" 波江 利之(協)
2区	(御堂―三股)	2.4	広瀬 哲也	村木A	8'08"	7'41" 松尾 俊典(甲)
3区	(三股―中尾)	4.4	上野 光則	川内	区間新14'13"	14'24" 吉武 利勝(折)
4区	(中尾―舞相)	5.2	田崎 政彦	乙長野A	16'10"	15'16" 内田 信好(折)
5区	(舞相―平野)	5.8	森浦 好雄	宿A	区間新17'25"	17'54" 田中 正継(井)
6区	(平野―皿山)	4.4	本山 伝衛	乙長野A	14'55"	13'47" 中村 新吾(皿)
7区	(皿山―中学校)	4.0	溝口 真二	金屋	区間タイ12'29"	12'29" 吉武 正徳(折)

※ 5区では、田中正継選手(井石A)も17分31秒で区間新樹立。

永尾少剣優勝飾る

——第十一回東彼杵町剣道大会——

第十一回東彼杵町剣道大会が一月十五日、彼杵児童体育館で開かれ、団体戦・小学生の部で永尾少年剣道クラブが見事優勝を飾りました。

う中、激しいつばぜり合いが展開されました。本町の主な成績は次のとおり。

〈団体戦〉
 ▼小学生の部 優勝＝永尾少剣（島尾太輔・楠本義穂・松下昭浩・川島源二郎・島尾珠美）、三位＝南少剣（個人表彰）
 ▼五人抜き＝前田洋（南少剣）

各パートでは終始熱気が漂



礼心館チーム活躍

——県スポーツ少年団交流剣道大会——

県スポーツ少年団交流剣道大会が1月16日、長崎市国際文化会館で開かれました。

全国大会につながる選考試合と交流試合の二つに分かれ繰り広げられる個人戦の大会。

本町からは、礼心館チーム・19人が参加し、他町の剣士たちと激しいつばぜり合いを展開。その結果、選考会の小学四年の部で峰浩二君（東小）が見事準優勝。さらに交流会小学四年の部で石橋広樹君（中央小）も準優勝を飾り、波佐見剣士の心意気を示しました。



優勝を飾った永尾少剣

日 本への関心が高まって、外国人の日本研究者が増えています。外国人による日本研究は十六世紀に由来した宣教師たちが先駆けとなり、明治になって、日本の近代文化の介添え役として招いた外国人たちの活躍で本格化しました。

外国人たちの滞在中の日本研究が、東洋の小国「日本」を外国人に認知させる力にもなったのです。

外 国人の日本研究者がいまどのくらいいるのか、なかなか実数はつかめませんが、研究テーマが、かつてのように日本文学、美術など特定の分野に限られなくなったうえに、研究も日本だけの地域研究から政治、経済などの分野での国際比較がかなり多くなってきたことにもよります。

国 際交流基金では、一九七二年の設立当初から日本研究者の学者・研究者などの専門家を日本に招いて、自由に研究してもら



海外の日本研究者



日 本研究者は、かつてのエキゾチシズム（異国情緒）から経済大国ぶりへ、と日本に対する関心を広げています。日本を正しく理解してもらうためにも、外国人研究者のいっそうの受け入れ体制の整備を、急がなければならないようです。

うための「フェローシップ制度」を実施しています。一九八八年度は、約五倍の競争の中から継続分も含めて百五十九人を招へいしました。

研究テーマは日本文学、能・狂言・俳句などの研究にまじって「戦後日本と西欧の造船産業政策」(スウェーデン)、「日本の電気産業の歴史」(カナダ)、「平安時代の地方官僚」(アメリカ)など多彩です。


 町の話


◀手づくりの味をどうぞ

—農産物加工品試食会—

新しい特産品で地域の活性化を——農協婦人部鬼木支部の半年間の研究の成果を披露する「農産物加工品試食会」が1月27日、町公民館で開かれました。

試食会に参加したのは、兒玉町長、坂井議長はじめ婦人会、食生活改善推進委員など約20人。まず昨年町内で収穫された4品種の米を、外観（色・光沢・つや）、香り、食味の順にそれぞれ評価。引き続いて、手づくりミソや市販のミソなどの混合割合を調整したミソ汁やミソ漬（ショウガ・昆布・ナス）も出され、参加者たちは、アンケート用紙と照らし合わせながら終始真剣な表情で試食。会食では特産鬼木コンニャクも出されました。

▶コイやフナの稚魚放流

川棚川漁業協同組合では1月13日、川棚川にコイやフナの稚魚を放流しました。

放流した場所は全部で6カ所。そのうち本町では鶴ノ川橋、岩淵、温泉センター裏の三カ所に体長30㎝前後のコイ約300匹と5.6㎝のフナの稚魚5,000匹ほどが放されました。

放流したコイは年間サオ釣り1,000円（一日釣り200円）、たてきり網5,000円（一統）などの入漁料で捕ることができます。

3月にはアユの放流も予定されています。

問い合わせは川棚川漁協事務局（☎82-2808番）へ



◀鬼は外、福は内

町立皿山保育所では2月2日に節分を行いました。

赤や青など色とりどりの鬼の面を作った子どもたち。皿山地区の園児らの家を回りながら、「鬼は外、福は内」と一斉に豆まき。また、皿山大神宮では、鬼に扮する先生2人が登場すると、必死に豆を投げつける子や怖がって泣き出す子などさまざま。見学に訪れた父兄らも盛んにシャッターを切っていました。

新しい家族 No.19 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学

詫摩 武俊

現在、公立小学校はほとんど共学で、男の子と女の子は机を並べて勉強しています。一、二年生ころまでは幼稚園のころとよく似ていて、男の子と女の子は一緒に遊びますし、相互の家に遊びにいたりもします。

小学校の男の子と女の子

いだからではなく、強い関心を持ちながら、それを表現するのには羞恥を感じているからです。したがって運動会のクラス対抗リレーのときのように、公然と全員が関心を表現できる機会には、自分がひそかに好意をもっている異性の選手に、熱のこもった応援を

おとなっぽい感じがします。五年生、六年生のころには、同じ学級の中に姉と弟が並んで授業を受けているような感じを与えることがあります。なかには女の子にいじめられ、学校に行くのを嫌がる男の子もいます。

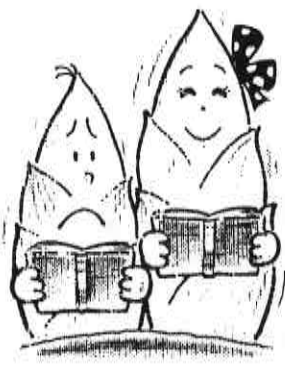
このころは、男の子と女の子の立場がほかの時期とは違った特徴を示すのです。「女の子をいじめてはいけません」と男の子はよくいわれますが、「男の子をいじめてはいけません」と女の子がいわれることはないそうです。共学が普及し、女の子が伸び伸び

三、四年生になると、身体が発達に差がみられるようになり、興味をもつことも違ってきます。そのため男の子と女の子は接触す

登校、下校の道順が同じでも、男の子と女の子は肩を並べては歩きません。この対立的な風潮に反して、特定の異性に接近したり好意を示したりすると、同性の仲間からかわれたりします。

愛想な態度は異性の友達が嫌。このような無視、反発、無愛想な態度は異性の友達を嫌

することになります。五年生、六年生では身長、体重、胸囲、座高のどれをとっても、全国的平均値では女の子のほうが男子よりもまさっています。性的な成熟も女子のほうが早く現れます。この時期では知的な関心も概して女子のほうが高く、全体的に



戦傷病者等の妻に対する特別給付金請求の 時効について

昭和61年法律第53号、昭和61年10月1日施行の戦傷病者等の妻に対する特別給付金の請求期限は本年9月30日をもって時効となります。

まだ請求が済まされていない方は、役場住民福祉課で手続きを済ませてください。

1 対象者

(1)新規対象者

昭和54年4月2日から昭和58年4月1日の間に、爾后重症等により傷病恩給等5款症以上を受給することとなったか或いは、この間に婚姻した戦傷病者等の妻

(2)再継続、継続対象者

昭和38年4月1日及び、昭和48年4月1日或いは、昭和54年4月1日の基準日において特別給付金の受給権を取得した者で引き続き昭和61年10月1日において傷病恩給等を受給している戦傷病者等の妻

(3)特例給付金対象者

昭和61年5月15日特別給付金国庫債券の償還中で、昭和58年3月31日までに平病死した戦傷病者等の妻

※詳しいことは、役場住民福祉課へおたずねください。

非行に歯止めをかける あなたの一声



●家出少年発見保護活動強化月間●



肝臓の障害について



東彼医師会 山川 裕 (東彼杵町)

私たちの願いは、何といつても健康ですね。でも、ちょっとした油断でいろんな病気やけがに見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

春めいて温かい正月でしたが天皇陛下の崩御もあり落ち着いた。それでも暮れから正月にかけてお酒を飲む機会が多かったです。酒は適量であれば百薬の長といわれ健康増進やストレス解消に役に立ちますが、過ぎれば肝臓障害の原因となりますので御注意ください。肝臓障害の原因にはウイルス、病原菌(によるもの)、アルコールや薬によるもの、糖分のとりすぎなどがあります。進行が早いものは急性あるいは重症肝炎と呼ばれる命にかかわること

があるので注意が必要です。徐々に進行する肝臓障害の場合には軽い間はあまり自覚症状がありません。しかし油断していると肝臓障害が進み、体がだるくなったり食欲がなくなったりと、何か症状が出るようになります。慢性肝臓病もけつこう進んだ状態です。肝硬変となると手足が腫れたり、お腹に水が溜ったりします。こうなると元にはなかなか戻りません。従ってこうなる前に肝臓の状態を調べる必要があります。皆さんも検診などで聞かれる代表的な指標としてGOT・GPTといった横文字がありますが、これらは肝臓などの細胞が破壊されたことによりその中から放出された酵素の一部です。この上昇の具合によって肝臓の障害の程度を判断します。肝臓以

外の病気でも上昇することがありますが、だいたい30以下くらいは正常です。さらにアルコール、胆石、胆嚢炎などでは別の酵素が先に上昇していきます。これらの指標が上昇してくると症状がなくなると進行した状態です。早く治療を始める必要があります。特にお酒によるものであればアルコールの量を減らして、休肝日を作るとかなり元に戻ります。また、これ以外にもおしつこの検査や黄疸が出て来ることによっても肝臓がわるいかどうかかわることがあります。おしつこが急に黄色くなったり、目の白い部分が黄色くなったりしたら用心しましょう。但しミカンの食べ過ぎによるものは心配ありません。疑わしいときには検査を受けてください。

こんにちは
菜園士です

野菜のお話

野菜のホームフリージングを生かし、バランスのとれた食事を。

一年中、いろいろな野菜が出廻り、季節感が、うすらいで来た最近ですが、旬のものが、内容も充実して、おいしいのはもちろん、値段も手ごろです。肉、魚などに、くらべて、解凍に気をつかう必要がないので、余った野菜は冷凍保存しておくと、いつでも使えて便利です。

●茹でて冷凍しておく野菜
人参、ばれいしょ、トマト、さといも、ブロッコリー、さといも、ブロッコリー

●生のまま冷凍する野菜
しめじ、椎茸、みょうが
野菜は、肉・魚料理のつかけ合せとしてだけでなく、生野菜のサラダだけでなく種類を多く、まんべんなく摂るためにも、ホームフリージングを上手に、生かしましょう。



個人と社会をつなぐ窓

あなたの耳を大切に

●3月3日は「耳の日」です



ひろば

の方は役場
お知らせください。

鴻ノ巣公園「記念の森」

植樹会：3月26日(日)

町では、鴻ノ巣公園内に開設した「記念の森」への植樹希望者を募集します。

結婚・誕生・新築・開店・入学・大会出場など記念すべき内容は自由です。

ご希望の方は、申込みと同時に植樹経費(樹木購入費・銘板作成費)一万五千円を納入してください。

- ◎申込み期限 三月一日
 - ◎申込み先 役場建設課
 - ◎植樹時期 三月二十六日(日)
- 現地では植樹会を行います。詳しくは、役場建設課へおたずねください。

「あなたも記念植樹に」
参加しませんか!!



昨年は、ブラジル・マウア市との姉妹都市縁組の記念植樹も行われました。

固定資産の

課税台帳の

縦覧(3/1~3/20)

固定資産税は、毎年一月一日現在の固定資産に対して課税いたしますが、固定資産課税台帳に登録されている固定資産の内容に間違いがないか確認していただくために、平成元年度の台帳の縦覧を次のとおり行います。

縦覧期間 三月一日(水)から三月二十日(月)まで

但し、日曜日及び土曜日の後を除く。

縦覧場所

役場税務課

ご協力を

広げよう緑を育てる 愛の輪を

「緑の羽根」募金 1本30円!!

緑豊かな郷土を築くため、みなさんの温かいご理解とご協力をお願いします。



国土緑化強調期間
(3月1日~5月31日)

住民の異動届けは お早めに!!

入学、就職のシーズンを迎え、一年のうちで最も住民の異動が多い時期となりました。

このようなとき、ともすれば忘れてたり、遅れたりするのが異動届けです。

転入、転出など該当される方は早めに正しい住所地への異動届けをいたしましょう。

異動届けに関する問い合わせは役場戸籍係まで(☎85-2111番)

身体障害者

自動車操作

訓練事業

- 四月十一日(火)から四月十三日(木)
- ◎筆記、面接試験 四月十二日(水)から四月十三日(木)
- 2 場 所
 - ◎適性検査 長崎県運転免許試験場
 - ◎筆記、面接試験 大村市立病院

県では、身体障害者の自立更生と社会活動の促進をはかるため、運転免許取得のための自動車操作訓練事業を次のとおり実施します。

一 対象者

- 1 身体障害者手帳の一級から四級の者
- 2 年齢が、六十歳未満の者
- 3 道路交通法による自動車運転免許を受けることができる者

- 四 訓練の実施期間 四月下旬~六月、九月~十二月の予定
- 五 申込期限等 三月二十九日(水)までに役場住民福祉課へ申し込んでください。

※詳しいことは、役場住民福祉課へおたずねください。

二 人員

八十名

三 適性検査及び筆記、面接試験による審査

- 1 期 日
- ◎適性検査



入所生募集

身体障害者
更生指導所

長崎県身体障害者更生指導所では、手・足・体幹等に障害のある者について、その障害に適應した職能指導及び必要な機能回復訓練を行い、就職等を通じて社会経済活動に積極的に参加させ、自立更生を図るため、次のとおり入所(通所)生を募集します。

- 募集人員
入所生 30名
通所生 20名
- 募集期間
2月6日(月)～3月17日(金)
- 入所期日 4月1日
- 入所期間 1年
- 訓練科目等

1 職能訓練

- 印刷科
- 洋裁科
- 和裁科
- 編物科
- 自動車訓練科

2 機能回復訓練

6 応募資格

- 15歳以上(自動車訓練科は18歳以上)の者で、付添人を要しない者。
 - 更生意欲があり、かつ更生能力があると認められる者。
 - 精神障害を主たる障害としない者
 - 伝染性疾患を有しない者
- ※詳しいことは、役場住民福祉課へおたずねください。



所得税の確定申告
(3月15日まで)

「申告は
お済みですか」

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで

作品募集

'89ながさき
陶磁展

県陶磁器振興会では、'89ながさき陶磁器展の作品を募集します。
▼部門：デザイン、工芸、伝統的工芸品産業の三部門。
第一部 デザイン部門
へ自由作品

一般日用食器、割烹食器、食卓小物類、玩具、アウトドア用品などなんでも結構ですが、原則として反復生産を意図したもの。
へテーマ作品
「秋」をテーマとしたデザイン。
「秋」を自由に表現してください。パターン、形状、

技法等は、限定しません。
第二部 工芸部門
技術、技法を高度に駆使し、創作性・芸術性の高いもの。
第三部 伝統的工芸品産業部門
波佐見焼、三川内焼の伝統的工芸品産業指定の内容に基づき、伝統的技術、技法及び原材料を用いたもので、主として日常生活に供される実用的価値の高い工芸品で、製造過程の主要部分が手作業によるもの。

▼応募資格：デザイン、工芸については制度なし。伝統的工芸品産業については、波佐見、三川内に在住、勤務されている方に限る。
▼作品受付：3月1日から3月15日まで
▼作品搬入場所：陶芸の館
▼発表展
○波佐見展：四月一日から四月五日まで(陶芸の館)
○佐世保展：四月二十六日から四月三十日まで(島瀬美術センター)
詳しくは、県窯業試験場(☎八五―三―四〇番)へおたずねください。

二月は

労働保険
適用促進月間

公共職業安定所・労働基準監督署では、二月一日から二十八日までを労働保険適用促進月間として、未加入事業所の加入促進に取り組んでいます。

現在まで、加入手続きをさされてない事業所は、早めにご手続きをお願いします。

なお、労働保険関係事務については、労働大臣の認可を

自衛官

◎自衛官募集

二等陸・海・空士
資格 18歳以上25歳未満の男子 (高卒予定者を含む)
受付 随時
試験日 受付時に指定します。

◎申込・問合せ先

自衛隊大村募集事務所
(☎26217)

「ボーイ・カフス
カウト」ぼしゅう

ボーイスカウト東彼杵一団では、隊員を募集しています。

一、対象

カプ隊 小学三年生

ボーイ隊 小学六年生

二、募集人員

それぞれ若干名

三、連絡先

事務局(野中医院内)

田中

TEL 三〇五四・三

〇七七まで



来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料

- 香典返しにかえて
川棚町 西九右衛門様
御母堂故西ハツ様
村木郷 吉川 誠様
御尊父故吉川益次様
永尾郷 山口 敏治様
御母堂故山口キト様
宿郷 佐原 源作様
御夫人故佐原カツエ様
金屋郷 山口 則光様
御尊父故山口昇様
折敷瀬郷 田中 巖様

善意の窓

1日1円(年360円)で
町村交通災害共済へ
加入しましょう!!



わたしたちのごく身近なところで、毎日毎日交通事故が発生しています。予期しない事故にあわれたときに見舞金をお支払いするのか町村交通災害共済制度です。

現在加入している人は

3月31日で共済期間が終了しますので、引き続き加入申込みを!!

まだ加入されていない人は

ぜひこの機会に申込みを!!

- 掛金** 1人につき360円
 - 共済期間** 4月1日から翌年3月31日まで
 - 災害見舞金** 2万円から100万円までとなり、10等級に区分されています。
- 詳しくは、各家庭に配布するパンフレットをご覧ください。
担当・役場総務課

寄付お礼

児童文化基金に多額の寄付をいただきました。心から厚くお礼申し上げます。

○金屋郷

山下鐵夫様
(お見舞返しにかえて)

○永尾郷

山尾篤樹様
(")

目標額 2,000万円
達成額 965万3千円

- 御母堂故田中チク様
○お見舞返しにかえて
中尾郷 太田 光則様
宿郷 佐原 源作様
○金一封
皿山郷 福田 タツ様
以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

- | 子名 | 父名 | 住所 |
|--------|-----|------|
| 松尾 篤憲 | 昭文 | 永尾郷 |
| 山下 知也 | 守 | 野々川郷 |
| 北村 卓也 | 春久 | 鬼木郷 |
| 澤田 寛子 | 義満 | 金屋郷 |
| 山田 純平 | 良人 | 折敷瀬郷 |
| 三石 寛之 | 和広 | 村木郷 |
| 的野 竜三 | 秀雄 | 村木郷 |
| 本間 一馨 | 恒敬 | 田ノ頭郷 |
| 長岡 紗おり | 正次 | 田ノ頭郷 |
| 執行 紗生 | 伊佐生 | 田ノ頭郷 |
| 原口 知美 | 満喜 | 岳辺田郷 |

お誕生おめでとう

ご結婚おめでとう

おくやみ申し上げます

- 早岐 麻理 誠 協和郷
- 宗方 淳史 憲一 協和郷
- 伊藤 毅志 大輔 協和郷
- 吉田 昭則 大村市
- 村川久美子 折敷瀬郷
- 渡川誠一郎 協和郷
- 瀧手 照美 川棚町
- 松尾 邦義 三股郷
- 福田 ツギ 野々川郷
- 白木 七次 湯無田郷
- 内海 スワ 湯無田郷
- 田中 克枝 湯無田郷
- 河野 恭子 井石郷
- 内村 キヨ 井石郷
- 前川キミエ 鬼木郷
- 川崎 敏夫 鬼木郷
- 内田 エル 折敷瀬郷
- 副島 サメ 折敷瀬郷
- 川添 儀一 宿郷
- 大平 ヨシ 宿郷
- 森 カツ 村木郷

- 山口 市次 稗木場郷 81歳
- 山田 重平 稗木場郷 90歳
- 小川 カヨ 稗木場郷 82歳
- 溝上 タノ 志折郷 65歳

こちら 編集室

工業統計調査—通産省が毎年陶磁器業など製造事業所を対象にした調査である。

今年も本町では二十四人の調査員が約六百四十の事業所を訪問した。事業所の数では長崎市、佐世保市に次いで県下で三番目。特に本町は陶磁器関連事業所がほとんど。陶土、石膏、生地、鑄込み、絵付、焼成と波佐見焼が誕生するまでには、さまざまな技法と工程があり、たくさんの人々が昼夜心血を注いでいる。調査して回れば、いろいろな方々の声を聴く。後継者、デザイン、スタッフなど事業所が抱える課題から町づくり・観光、農業の問題などさまざま。「広く聴く」ことの大切さを改めて痛感した。

